

2021年4月入職

たかはしりょうじ
高橋 遼次



不器用さは努力でカバー、患者さまの笑顔のために

自分と関わった人たちを、必ず笑顔にしたい

看護師である母の影響を受け、小さい頃から医療業界に興味を持っていました。父は機械関係の仕事をしており、機械を扱うことにも興味がありました。臨床工学技士という仕事は、両親の職業に憧れていた私に最適だといえるのかもしれませんが。人と関わることも好きだったので、臨床工学技士の中でも特に人と関わることの多い透析を選びました。

日々の中で意識しているのは、患者さまの状態、スタッフの状態、業務の進捗など、まわりのさまざまなことを観察することです。その中で「いま誰にどのような言葉をかけるべきか」「自分はどのような行動を起こすべきか」を判断し、実行しています。また、行動して終わりではなく、その行動によって変化した状況を再度観察し、改善に繋げる。こういったたゆまぬ努力の積み重ねの先に、関わった人たちの笑顔があると私は信じています。

時代を読み、率先して改革を起こす



私は人より不器用なタイプで、初めの頃は穿刺が上手くいかないことが多々ありました。患者さまから「来ないで」といわれたこともあります。そこで諦めるのではなく、丁寧に挨拶をしたり、積極的に返血や血圧測定に行ったり、テレビを見やすい位置に変えたりと、気遣いとコミュニケーションを大切にしました。その結果、その患者さまが「顔をみると安心する」といってくださるまでになりました。はじめは悔しい思いでしたが、今ではその患者さまがいらしたからこそ、穿刺の腕だけでなく、

メンタルも鍛えられたのだと感謝しています。

不器用である代わりに、ほかの人の何倍も考え、何倍も努力してきたという自負があります。思いやりエキスパートの候補になったと聞いたとき、自分の努力は間違っていなかった、と思うことができました。今後のテーマとして掲げているのは、改革です。働いている中で、患者さまが求めているものと、私たちが提供しているものに溝があるように感じます。時代とともに人々の考え方やニーズが変わるのは必然であり、透析の領域に限れば、再生医療の発展が進むほどに需要は減っていくでしょう。そのような時代の変化に対応していくために、そして患者さまのさらなるニーズにお応えできるよう、率先して、今まで通りではない満足につながるような改革を起こしていきたいと思っています。



More smile !!
全体的にお客さまをもっと笑顔に
できるエキスパートを目指します。

高橋 遼次